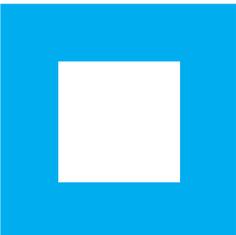




簡易 保険



2005

簡易保険のディスクロージャー冊子

Kampo

簡易保険事業

簡易保険
Insurance

「基礎的・生活保障の
ベストサービス」を提供し
ファーストクラスの
ご満足をいただける
簡易保険を目指します。



基礎的な生活保障手段の提供 (ユニバーサルサービス)

簡易保険事業は、全国あまねく設置された身近な郵便局を通じて、無診査、職業による加入制限なし、即時払等簡易な取扱いを特色とするサービスを提供するとともに、その資金の運用を通じて地域社会への発展に貢献しています。また、郵便貯金事業とともに、郵便局ネットワークを通じて各ご家庭への総合的な金融サービスを提供し、家計のメインバンクとして機能する「ファミリーバンク」を目指しています。

基礎的な生活保障手段

●誰でも手軽に加入できます。

- ・身近な郵便局を通じ全国あまねくサービスを提供
- ・加入に当たり、医師の診査は不要（無診査）
- ・職業による加入制限なし 等

●必要なときにすぐ役立ちます。(入院・死亡・その他急な資金需要)

- ・保険金・貸付金は原則即時払
- ・非常災害時における非常即時払 等

簡易保険 2005

簡易保険のディスクロージャー冊子

簡易保険事業本部長メッセージ	6
----------------------	---

1

ハイライト

1 業務の状況	10
1. 契約の状況	10
2. 契約者配当の状況	11
2 財務の状況	12
1. 健全性	12
2. 損益の状況	13
3. 資産・負債の状況	14
4. キャッシュ・フローの状況	14
3 資金運用の状況	15
4 トピックス	16
1. 「かんぽコールセンター」によるお客さま相談の全国実施	16
2. お客さまサービスの改善	16

2

経営の取組

1 中期経営目標・中期経営計画（簡易生命保険業務）	18
1. 中期経営目標	18
2. 中期経営計画	19
2 平成17年度経営計画（簡易生命保険業務）	20
3 アクションプラン・フェーズ2	21
4 コンプライアンス	22
5 リスク管理への取組	24
1. リスク管理体制	24
2. 主なリスクの種類と内容	25
3. 各種リスクへの取組	25
6 簡保資金の運用	29
1. 簡保資金の運用の基本的な考え方	29
2. 簡保資金の運用計画	29
3. 簡保資金の委託運用	30
7 個人情報保護の取組	31

8	お客さま満足度の向上	32
9	経営の効率化	33
1.	簡易保険事務センターの再編	33
2.	加入者福祉施設の廃止	33
10	JPSの取組	33
11	環境への取組	34
	郵政エコプラン（日本郵政公社環境中期計画）等	34
12	社会貢献活動	37
1.	非常時の対応	37
2.	地域社会との交流	37
3.	地域社会への貢献	39
4.	健康増進活動	40

3

簡易保険業務概要

1	組織の概要、役員の氏名・役職	42
2	業務の内容	43
3	商品・サービスのラインアップ	44
1.	商品一覧、特約一覧	44
2.	その他	56
4	都道府県別郵便局数（簡易保険）	58
5	その他の業務概要	59
1.	ATMの設置数	59
2.	窓口の取扱時間	59
3.	簡易保険の電子計算システム	60
4.	契約上の権利義務に関する事項に係る裁判によらない紛争解決手続	61
	参考：組織の概要、役員の氏名・役職	62
6	お客さま相談窓口	63
1.	簡易保険事務センター等	63
2.	その他の相談窓口	63
3.	お客さま相談窓口	63
4.	簡易保険カードの紛失・盗難の受付	64
7	本社及び支社の所在地	65
8	沿革	66

4

加入者福祉事業

1	加入者福祉施設の設置・運営	70
1.	加入者福祉施設の概要	70
2.	加入者福祉施設の利用状況（平成16年度）	70
2	加入者福祉施設における取組	71
1.	バリアフリーの充実	71
2.	災害協定の締結	71

5

資料編

3 加入者福祉施設の設置状況	72
4 平成16年度加入者福祉施設業務の財務状況	74
5 平成16年度加入者福祉施設の収支状況	75

1 財産の状況	78
1. 公社会計と業務区分別整理のあらまし	78
2. 簡易生命保険業務の区分に係る貸借対照表の内訳	79
3. 簡易生命保険業務の区分に係る損益計算書の内訳	81
4. 簡易生命保険業務の区分に係るキャッシュ・フロー計算書の内訳	83
5. 債務者区分による債権の状況	88
6. 有価証券等の時価情報	88
7. 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	90
8. 貸付金償却の額	91
2 業務の状況	91
1. 業務の状況を示す指標	91
2. 保険契約に関する指標	93
3. 経理に関する指標	115
4. 資産運用に関する指標	121
5. 有価証券等の時価情報・金銭の信託の運用状況等	141
6. その他の業務概要	154
3 公社並びに当該子会社	156
1. 主要な事業の内容及び組織の構成	156
2. 子会社に関する事項	156
4 主な情報提供資料	157
1. ディスクロージャー冊子	157
2. 簡易保険ホームページ	157
3. 郵便局ホームページ、日本郵政公社ホームページ	158
4. 情報公開窓口	158

6

ご案内

1 生命保険及び個人年金保険に関する税金について	160
2 簡易保険の制度	163
1. 加入できる金額	163
2. 加入年齢	164
3. 簡易な加入手続き（無診査）	164
4. 保険契約の申込みの撤回	164
5. 保険契約の無効等	165
6. 保険料の払込み	165
7. 保険料の払込免除及び払込不要	165
8. 保険金の支払	167
9. 保険金の倍額支払	169

10. 年金の支払	170
11. 保険契約の解除	171
12. 還付金の支払	171
13. 保険契約者に対する貸付け	171
14. 契約者配当	171
15. 簡易保険カードによる取扱い	172
16. 保険契約者等の保護	172

日本郵政公社法施行規則に基づく索引	173
索引	176

メッセージ

皆さまには、平素から郵便局の簡易保険をご利用いただき、誠にありがとうございます。

このディスクロージャー誌は、平成16年度（2004年度）の簡易保険の経営状況や、業績、平成17年度における取組などについてご紹介するために作成しました。本書をインターネットのホームページなどと合わせてご活用いただき、皆さまの郵便局、簡易保険に対する御理解を一層深めていただければ幸いです。

2004年度の統括

平成16年度を振り返って

郵政公社では、公社発足に際し、3つの経営ビジョン（①「真っ向サービスの徹底」、②「健全な経営基盤の確立」、③「明るい将来展望を持てる働きがいのある公社の創造」）を掲げ、これら経営ビジョンの実現と第一期中期経営目標を達成するため、2年間の行動計画として「アクションプラン・フェーズ1」を策定し取り組んでまいりました。

簡易保険事業においては、事業理念として「基礎的生活のベストサービス～常にお客さまに最も信頼され、ファーストクラスのご満足をいただける簡易保険であり続ける～」を定め、簡易保険事業に携わる職員一人ひとりが「お客さま第一」の立場に立って、ベストサービスを提供できるよう取り組んでまいりました。平成16年度は、このアクションプラン・フェーズ1の仕上げの年として収益構造の改善と効率化の推進を中心に取り組むとともに、CSの推進、コンサルティングセールスの充実、コンプライアンスの徹底などに努めてきたところです。

また、平成16年4月には、簡易保険事業本部と郵便貯金事業本部が一緒になって「金融総本部」という体制をスタートさせ、全国の郵便局において郵便貯金、簡易保険のサービスをシームレスに提供し、ご家庭の金融に関わることを気軽にご相談いただける「ファミリーバンク」構想に取り組んでまいりました。

平成16年度決算

平成16年度は、少子高齢化の中での生命保険マーケットの変化や低金利の継続など、簡易保険を取り巻く経営環境は依然厳しいものでありました。

こうした中、簡易保険の平成16年度決算につきましては、ALM（資産・負債総合管理）の充実や適正なリスク管理を行いつつ、集金事務の効率化などの業務の効率化や施策の見直しによる経費の削減に努めたこと、株式市場が底堅く推移したこと等により、ご契約者への配当準備金に1,273億円（前年度1,657億円）を繰り入れるとともに、内部留保に5,517億円（前年度41億円）を積み増すことができました。これもひとえにお客さまのご支援、ご愛顧によるものと考えています。

2005年度の取組

平成17年度における主な取組

昨年度までのアクションプラン・フェーズ1に引き続きまして、今年度からは、公社第1期後半2年間の総仕上げとして、改革を更に前進させ、その成果をより確実なものにするため、アクションプラン・フェーズ2をスタートさせました。簡易保険事業におきましては、より多くのお客さまへ「安心」をご提供するために、全員参画によるCSの向上やコンプライアンスの徹底、業務品質の向上などにより、身近な郵便局の生命保険としての「かんぽ」ブランドの維持向上を図るほか、コンサルティングセールスの推進などお客さまの生活・人生設計にお役に立つ営業力のパワーアップやJPS（Japan Post System）の推進など生産性の一層の向上に努めてまいります。これらの取組により、収益性を高め、お客さまの生活を長期にわたり保障するために堅固な財務基盤を構築してまいります。また、将来にわたり健全経営を維持するため、ALM・リスク管理を適切に行うとともに、その管理の高度化を行い、経営管理の充実を図ってまいります。

サービスの充実を図った点としましては、平成17年4月から「かんぽコールセンター」におけるお客さま相談の全国実施を展開して、お客さまのニーズに応えるよう体制を整備しております。

また、簡易保険事業では、従来から個人情報保護の管理を重要課題の一つとして取り組んでまいりましたが、平成17年4月1日から個人情報保護法等が施行されたことを受けまして、個人情報保護の体制を一層充実させるとともに関係規定を整備し、お客さまが安心して簡易保険を利用していただけるよう対応したところです。今後とも、個人情報保護関連法令を遵守し、お客さまの大切な情報を厳正に管理し、その適正な取扱いに努めてまいります。

終わりに

簡易保険は、今年度もお客さまからお寄せいただいている厚い信頼に応えつつ、「真っ向サービス」の提供、基礎的生活保障のベストサービスの提供に役職員一同努めてまいりますのでより一層のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年8月

日本郵政公社 金融総本部
簡易保険事業本部長 元女 久光



本冊子内の表中の数値及びパーセント表示は、端数処理により合計数字が合わない場合があります。